

新しい議長が決まりました



4月
臨時会

令和7年4月11日に開かれた4月臨時会において、議長の選挙が行われ、藏内勇夫議員(自民党県議団)が選出されました。

第74代 福岡県議会議長

くら うち いさ お

藏内 勇夫

昭和28年12月7日生

(10期・筑后市選出) 自民党県議団

就任にあたって

福岡県議会第74代議長にご推挙を賜り、大変身に余る光栄でありますとともに、身の引き締まる思いでございます。思い起こしますと、2001年5月、第54代議長に就任いたしました時には、このような栄誉を再び頂くことになるとは思いませんでしたが、以来、議会人として24年に渡る経験を積み重ねてまいりました。この経験を踏まえ、県議会の公正かつ円滑な運営を心がけますとともに、「歴史は守るものではなく、我々自らが創るものである」との信念と、私の政治信条であります「熟慮断行」の気概をもって、二代表制の一翼を担う県議会の立場から、先例や過去に囚われることなく県政のあるべき姿をしっかりと考え、新しい福岡県づくりに尽力をしてまいり所存であります。



議長就任記者会見において

4月臨時会後に議長室において議長就任記者会見が行われました。記者から今後の抱負を問われた藏内議長は、「県議会の役割である執行部に対するチェック、議会の政策立案能力、こういったものをより高めていかなければと思っています。今後、より一層、県民の皆さまのニーズに応えるため、そして、県政発展のために尽力してまいります」と述べました。

TOPIC 福岡県において13都道府県議会議長会を開催

4月22日、第242回13都道府県議会議長会議が本県で開催され、藏内勇夫議長、江口善明副議長が出席しました。この会議は、大都市を有する都道府県に共通する問題を解決することを目的に開かれており、本県では平成30年以来7年ぶりの開催です。

藏内議長は、「性別や年齢を問わず誰もが平等に、かつ相互に個人の尊厳と人権を尊重して社会の営みに参加し公職を目指すことができる環境を整備することが重要な課題だと考えます。各都道府県の皆さまと意見交換を行う中でこうした課題の解決に向けたよりよいヒントを見出すことができればと思います」と挨拶し、「議会におけるハラスメント根絶に向けた取組について」をテーマに各都道府県の取り組み等について活発な意見交換が行われました。

13都道府県議会議長会(北海道、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、福岡県)



定例会の概要

令和七年二月

2月定例会は、2月4日に招集され、2月20日まで17日間の会期で審議が行われました。

今定例会には、3月に知事選挙が行われるため、4月から7月まで4カ月間の所要額等を計上した「令和7年度福岡県一般会計暫定予算」や「令和6年度福岡県一般会計補正予算(第6号)」など予算議案22件(5面に暫定予算、6面に補正予算の主な内容を掲載しています)のほか、条例議案18件、契約の締結に関する議案9件、経費負担に関する議案2件、その他の議案3件、人事に関する議案5件、計59件の議案と諮問1件が開会日に知事より提出されました。

さらに、企業業績が堅調に推移していることなどにより、国、県ともに増収が見込まれることから、県税や地方譲与税、地方交付税を増額するほか、年度内の所要額がほぼ確定した経費を減額するためなどの令和6年度補正予算議案12件、経費の負担に関する議案8件の計20件が追加提案されました。

このほか、「福岡県議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」など委員会提出議案2件を提出しました。

審議に当たっては、地方創生の取り組みの総括と今後の成長展開、県政推進の基本姿勢、救急医療、水道の漏水調査、地域公共交通、福祉労働問題、県土整備問題、農林水産問題、教育問題など県政全般にわたる活発な論議が交わされました。

審議の結果、提出された議案81件については、いずれも原案のとおり可決または同意され、諮問1件については請求を棄却する旨の答申が決定されました。

